

こども こわん Q&A

2019年度版

Q1 子どもこころの森(こども)ってなに?こわんってなに?

⇒「こども」は、子どもふれあい活動、「自主的子ども会」です。

毎月主に第4日曜日の昼間に、様々な活動を企画して、みんなで楽しんでいます。

みんなで「遊んで」、みんなで「ご飯を食べて」、みんなで「団らんして」…

活動内容よりも、みんなでのびのびと笑顔で過ごすことを大切にしています。

⇒「こわん」は、子ども食堂のような活動です。

こどものコンセプトに、「大家族」というキーワードを加えて、活動内容に「みんなで学習」を加えて、原則第1火曜日の夕方から活動しています。

⇒具体的な活動内容については、HP に写真を交えて掲載していますので、ぜひご覧ください。

Q2 主催団体は? スタッフはどんな人がいるの?

⇒主催団体、子どもふれあいサークル「らふチルドレン」は、子どもふれあい「キャンプ」から活動がスタートし、今年で 23 年目を迎えます。子ども好きなボランティアスタッフが集まって、どんなことも手作りで進めている NPO です。

⇒スタッフは、子どもたちのパパ、ママさんから、大学生、元参加者の中学生スタッフまで、年齢層は幅広いです。このさまざまな仲間たちが、人として、「ともに」という気持ちで子どもたちとふれあうことが、らふチルドレンの最大の特色といえると思います。

◎らふチルドレンの「らふ」は ROUGH(自然のままの)と、

LAUGH(心から笑う)の二つの意味からきています。

子ども達が「自然のままに心からわらいあえる」場所を作りたいという願いからです。

Q3 「学習」はどんな感じで行うの?

⇒宿題や課題を持ってきてもらい、取り組みます。スタッフが隣に座り、一緒に勉強しながら、子どもたちの事を気にかけていますので、わからないところはいつでも気軽に相談にのれます。

⇒学習の導入に、子どもたちの様子を見ながら、本の読み聞かせなどを行っています。

10分程度の読み聞かせのあとは、集中にずっと入れることが多いです。

⇒学習タイムは、集中して取り組むようにみんなで頑張ります。しかしながら学年や状況により、集中できる時間には個人差があると思うので、子どもの様子で対応できるようにしています。

⇒宿題や課題のないとき、早く終わってしまったときなど用に、ドリルなどの教材をこちらで用意しておきます。

◎おなじ机でみんなで勉強する。年上の子が真剣に勉強している姿を見る。みそ汁やご飯の炊けるにおいがする…そんな五感への刺激が学習意欲を生みだすと、経験から実感しています。

Q4 「食事」については？

⇒**食事は、公民館の料理室でスタッフが手作りし、給食します。**食事づくりのスタッフは、活動を20年行なってきたベテランや、ママさんスタッフが中心となります。

⇒ここわんでは、ご飯はお米屋さんから栄養価の高い「胚芽精米」を仕入れます。具たくさんのお味噌汁、おかずは旬の食材を使って作れたら…と思っています。

⇒月1のここもでは、現在スタッフ仲間の好意もいただいて、デザート付きの素敵なランチになっていると思います。

◎子どもたちに手伝ってもらったり、時には一緒にごはんづくりができるのも、この活動の大きな魅力のひとつです。あたたかい家庭的な美味しいご飯をみんなで食べながら、思い思いに話したり、笑いあったりする。普通のことかもしれませんが、こころとからだの健康にとって、いちばん大事なこともかもしれないと、食事中の子どもたちの笑顔を見ていると、思います。

Q5 「だんらん」の時間ではどんなことをしますか？

⇒ここもの活動では、「だんらん」の時間をとても大切に考えています。

普段はとくにやることを決めずに、思い思いに集まって遊びます。トランプやウノ、お絵かきなどで遊ぶ子が多いです。時には、みんなで遊ぶレクで楽しんだりもします。

◎何気ない団らんの時間の中に、実は様々な行動、人との関わりの場面があると思います。

たとえばトランプあそびを例にとると、

まず、誰かが「やりたいと思う…」⇒「トランプやりたい人この指とまれ！」⇒「ルールがわからないけど仲間に入れて！」⇒「じゃあ最初はわたしと一緒にやって覚えてね。」⇒「楽しかったから、次はひとりでやってみる！」or「ちょっとむずかしかったから、やっぱりウノやってる人のところに行こうと！」

こういうやり取りが、しぜんと行われます…こんなことを通して、子どもたちは「対人関係能力」「主体的人間力」を学んでいくのではないのでしょうか…

スタッフは、子どもたちと一緒にになって同じ目線でこの場面において、いやな思いやさみしい想いをすることのない様に、仲間の側から子どもたちの笑顔を見守るようにしています。

Q6 参加費について

⇒年会費 4000円＋食事1食 500円(当日持参)

ほかに活動経費(キャンプや遠足など、必要な時)です。

⇒年会費は兄弟参加での割引もありますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

⇒年会費は、年間の活動保険代(1000円程度)、事務通信、スタッフ研修費、ここわんの学習用具、備品購入などに利用しています。

◎スタッフはみんな自費で活動に参加してくれています。当日の食事や交通費もすべて自腹です。当日だけでなく、事前の打ち合わせやイベントやキャンプの下見なども行います。子どもたちが笑顔になれる場所づくりのために集まってくれるスタッフのために、打ち合わせの茶菓子代や、活動場所の下見の補助費などにも、頂いたお金を使わせていただいています。ご了承ください。

Q7 保険や、安全面についての考え方は？（必読下さい）

⇒参加者は全員、年間登録のスポーツ団体保険（詳細は事務局まで）に加入します。スタッフも、社会福祉協議会のボランティア保険に加入しています。

⇒安全面については、3つのポイントにまとめています。

「準備、予測」

安全に過ごせるよう、スタッフはKYT（危険予知トレーニング）をスタッフミーティングで行いながら、危険について意識出来るようにしています。事務局担当は、いざという時のために、上級救命講習を修了しています。

「子ども、意識」

子どもたちに大事にしてもらう約束事を、「みんな」「いのち」「えがお」という3つのキーワードにしています。このルールを開始時に反復し、意識するようにしています。

安全に過ごすためにもっとも重要なのは、子ども達自身が、「自分の身は自分で守る」と意識することだと思っからです。どこまでが安全で、どこからが安全でないのか…動きながらいつも自然に考える様になる。子ども達がこの自意識を育むことは、これから彼らが健やかに成長していくための「基」にもなる…とも思っています。

「見守り、援助」

スタッフは予測された危険を意識しながら、子ども達とともに活動し、様子を見守ります。ちょっとのケガなら経験のうち…命に関わると思う事だけは避けられる様に注意をします。大きな危険につながる行動があれば、時には大声で叱りたいと思います。

◎事故やケガは時として、どんなに気をつけていても起こりうるものと、私達は認識しています。事故やケガが怖くて、結果活動できなくなってしまう…あるいはあまりにも過敏に反応し、活動を制限してしまう。そんなことが子ども対象の活動では起こっていて、子どもが子どもらしくのびのびとみんなと過ごせる場所や機会は、どんどん減少していつているのが現状です。

そんな今だからこそ、あえて、様々なことに子どもたちとチャレンジしていきたいと思って、活動していきます。ご理解いただきたいと思っます。

「自分のことは自分で守るんだよ！」保護者の方から、何かの時に声をかけしていただければ、それが意識になり、成長につながります。よろしくお願ひします。

Q8 月1のここもだけ、火曜ここわんだけの参加はできますか？

⇒どちらかだけの参加も OK です。でもできれば両方に参加してほしいです。

ここわんでは、学習の時間があるので、遊びが少し物足りない…子どもたちの心境としてはそういうことになると思っます。その分を、月1のここもで、思いっきり遊んで発散する。そんな相互関係になるとよいと思っています。

Q9 初めて参加するとき、うまくとけ込めるか心配です。

⇒「アイスブレイク」という言葉があります。固まった心を自然と溶かしていく…という意味です。スタッフは初めての仲間のところを見つめ、「アイスブレイク」できるように、一緒に過ごします。大丈夫です！まずは気軽に体験参加してみてください。

ひとつだけお願ひです。「みんなと仲良くしたい」という気持ちをもって参加してください。

Q10 スタッフをやってみたいのですが…

⇒大歓迎です。子ども達と一緒に過ごしてくれるボランティアスタッフの**仲間を募集**しています。

年齢も性別も経験も問いません。

もちろん毎回でなくても、出来る範囲でOKです。

・**こどもの笑顔が好きな人**

・**子ども達の「ために…」よりも、子ども達と「ともに」という気持ちで活動してくれる人**

よかったら「ともに」スタッフしませんか?! 参加のお子さんの保護者の方も、大歓迎です。

興味がありましたら、ぜひ事務局までご連絡下さい! お待ちしています。

Q11 問い合わせや参加の申込みはどうすればよいですか?

⇒まずは下記事務局にご連絡ください! 質問や相談メールだけでも気軽にどうぞ。

⇒**参加の申し込みは、ぜひ電話にてお願いします。**直接お話しすることが、いちばん伝えられると思いますし、よりよいふれあいの出発点にもなると思っています。

すべての連絡、問い合わせは

子どもふれあいサークルらふチルドレン事務局 代表 山崎聡

TEL 090-9976-9277

Mail Yama0702@t.vodafone.ne.jp